

学校だより

令和6年度 第5号

東京都立小金井特別支援学校 令和6年7月19日



ごあいさつ

校長 中島 雄佑

コロナ制限無し、史上最大の児童・生徒数での始まりという「新しい日常」の中、私たちは様々な課題を解決し、多くの工夫を考え実行しながら「学習活動」を進めて参りました。保護者の皆様の御理解と御協力に感謝いたします。

さて、工夫の一つを御紹介します。今年度、新たに大きなビニールプールを購入しました。水を使った活動が好きな子供が多く、プールサイドで過ごす時間の熱中症対策のためです。水遊びの時間を設定して、中庭で水鉄砲や滝打たれなどで遊んだり、プールサイドでビニールプールに入って過ごしたりしました。子供たちには大好評でした。他にも、プールの水温が上がりすぎないようにするために、毎日午後90分間、プールに注水し、水を溢れさせて水質と水温の管理を行いました。

ところで、本校は「新しい日常の構築」を学校運営の柱としています。ほとんどの教育活動を見直して、ソフトランディングで改善してきています。以前にもお伝えしましたが、令和7年度に向けて、これまで2年間、準備してきたことを実行に移す予定です。特に宿泊行事につきましては、時期も含めて大きな変更になります。これまで、訪問場所の固定化、経費の値上がり、施設側の予約ルールの変更、児童・生徒数の爆発的増加、各教科等の授業時数の確保、教員の働き方改革などを勘案し総合的な見直しを行っています。2学期に説明できるように準備を進めています。

もう一つのご報告です。スクールバスの安全運行への取り組みとしまして、6月と7月にも乗務員への研修を行いました。6月は知的障害についての基礎知識を、教育実習生などに説明するのと同様の方法で実施いたしました。また、7月には「通学練習」と「一人通学」について、ルールや手続き、練習方法について研修をいたしました。

総合防災訓練・一泊二日宿泊防災訓練

生活指導主任 青山 直樹

総合防災訓練・一泊二日宿泊防災訓練を、7月5日（金）から7月6日（土）の日程で行いました。保護者の皆様には、気温の高いところ学校までのお迎え等への御協力をいただき大変感謝しております。

本校の防災マニュアルでは、震度5弱以上の地震が発生した時点で教育活動を中止し、保護者によるお迎えをお願いすることになっております。今回は震度7の地震が発生したことを想定して、訓練を行いました。さらに中学部2年生は、校内での防災宿泊を行いました。その中では、放水体験や防災講話、暗闇歩行訓練を行い、食事は災害備蓄食料のカレーライスとシチューを食べました。また、教職員も避難所設営等の研修を同時に行いました。

今後、いつ首都直下地震が起きるか分かりません。その際は、学校から緊急連絡はマチコミによる連絡が行われますので、アプリの通知をオンにすることと開封確認を行っていただくようお願いいたします。